

市民意見反映のための 取り組みについて



概要版

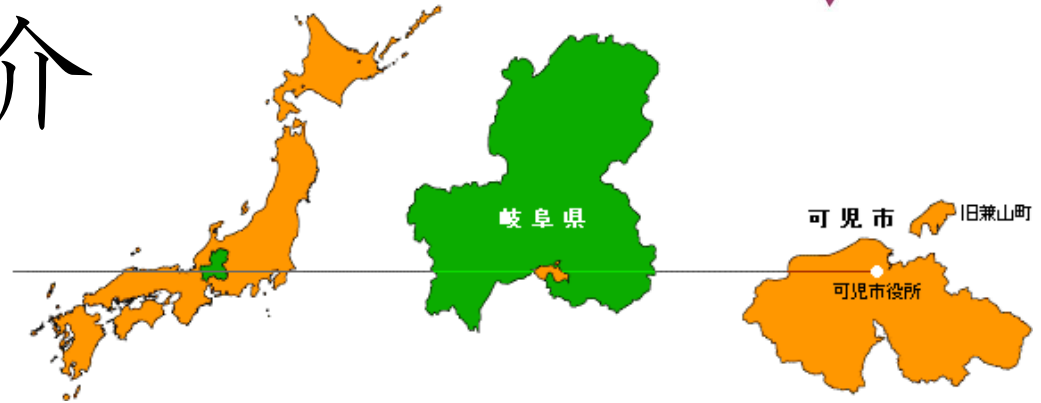
岐阜県 可児市議会

かに 可児市の紹介

人口 99,032人

世帯 45,144世帯

令和8年4月1日現在



世界に誇るバラ園

ぎふワールド・ローズガーデン



美濃桃山陶の聖地

信長・秀吉時代の茶の湯文化を牽引



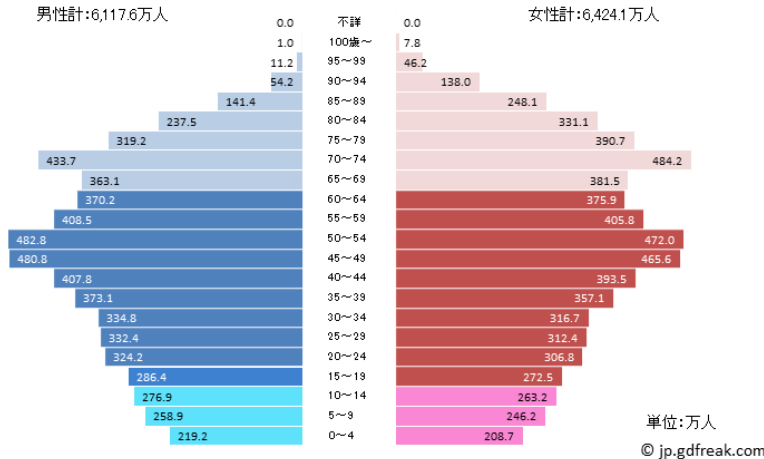
「志野呼継ぎ茶碗」

森乱丸の所縁の地

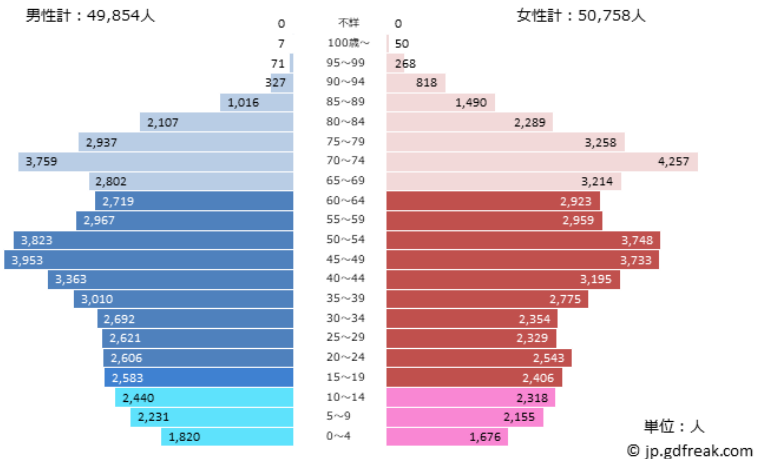
国史跡美濃金山城跡



人口構成から見える課題



全国の人口構成 (2023年1月)



可児市の人口構成 (2023年1月)

- ① 90歳代、80歳代と比較し70歳代の割合が多い
→ 加速度的に高齢化が進んでいる
- ② 20歳代、30歳代の割合が少ない
→ 就職や結婚を機に市外に移転している
- ③ 10歳以下の人口割合が少ない
→ 少子化、人口減少へ

課題に対し、議会のすべきことは

- 高齢化社会への対応は

1970年以降、名古屋のベッドタウンとして団塊世代を中心に人口が増加。その世代が75歳を超えてきたが、今のままでは・・・

- 若い世代に魅力あるまちづくり

これまでは山間地からの移住や、外国籍市民により人口維持。進学、就職、結婚を機に若者の都市部への流出は続いている。

- 地域の課題か、市全体の課題か

市の成り立ちから、市街地、団地、農業集落など、地域により課題が違ふ。限られた予算の中で選択をどのようにしていくのか。

市民意見を集約、しっかりと議論し、市政に反映。

市民は議会をどうみているのか

第1回市民アンケートの実施（平成23年2月）

※第2回調査を平成28年、
第3回調査を令和3年、
第4回調査を令和8年に実施

目的：市議会の現状を調査するため

対象：20歳以上の市民2,000人

主体：議会基本条例調査研究プロジェクトチーム
(有志議員)

予算：政務調査費（全議員が支出）

作業：質問選定から封入・郵送、集計・分析に至るまで
全て議員が実施

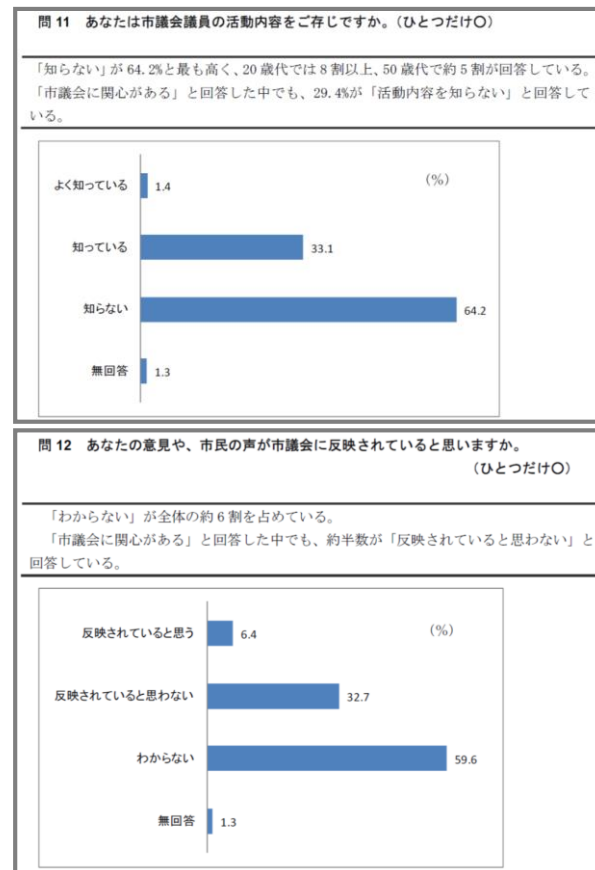
結果：・回収数は810件、**回収率は40.6%**

・市議会に関心がない 36.7%

・**議員の活動内容を知らない 64.2%**

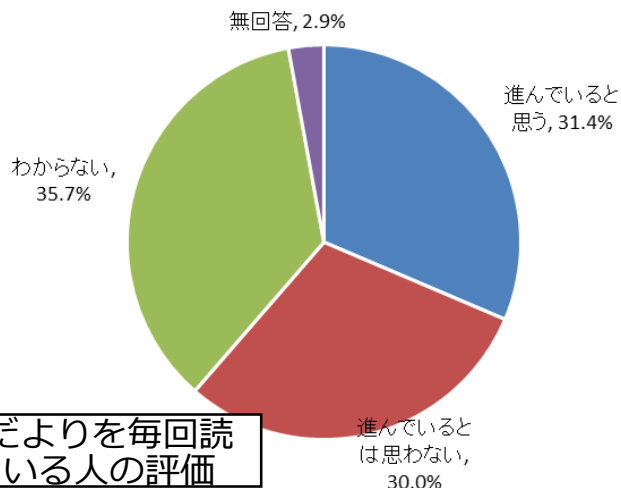
・**市民の声が市議会に反映されていると感じている 6.4%**

⇒**厳しい現状と議会改革を進める必要性を再認識**



アンケートの継続実施

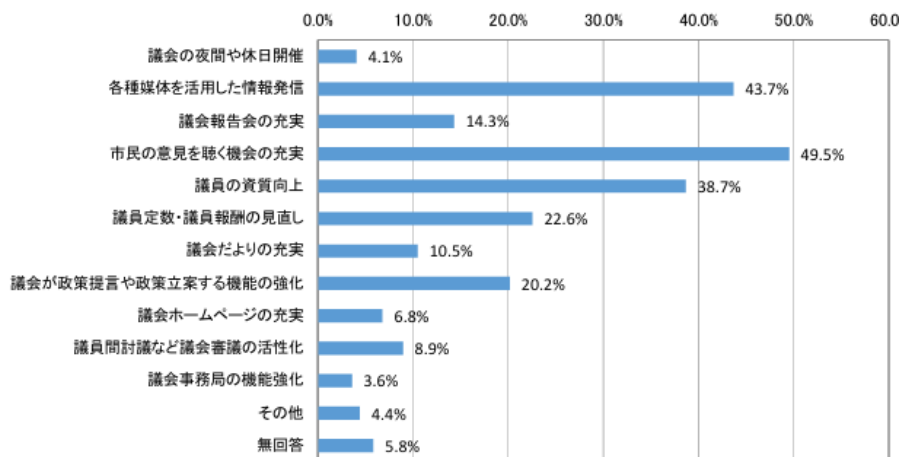
【問】 議会改革は進んでいると思うか (第2回：平成28年1月実施)



議会だよりを毎回読んでいる人の評価

議会改革の進捗について、「進んでいる」との回答が10.8%であったのに対し、議会だよりを「毎回読んでいる」人では31.4%が「進んでいる」と回答している。

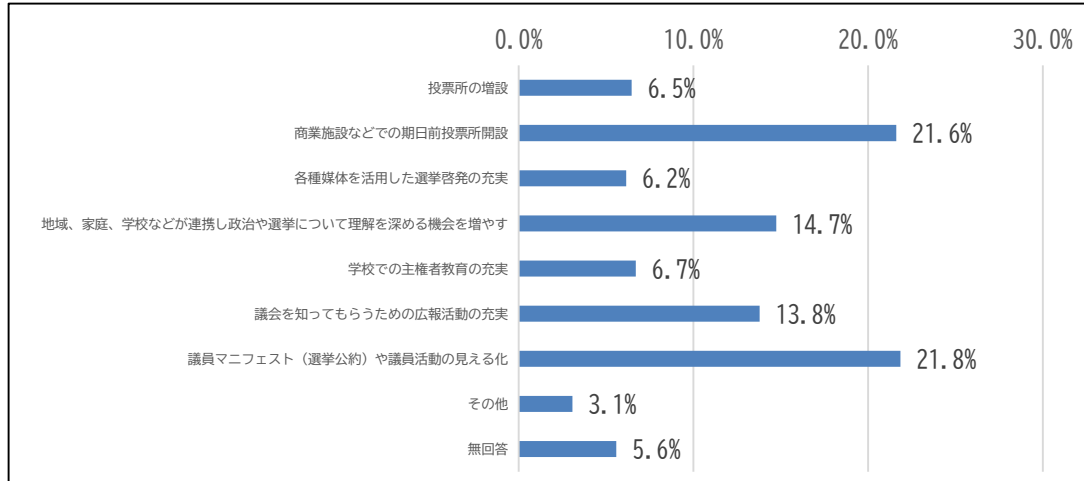
【問】 議会改革に何が必要と思うか (第3回：令和3年3月実施)



- 議会が取り組むべき課題は、依然として「意見交換会の充実」、「議員資質向上」と回答した人が多い。
- 「各種媒体を利用した情報発信」と回答した人が17.7%から43.7%と大幅に増加している。

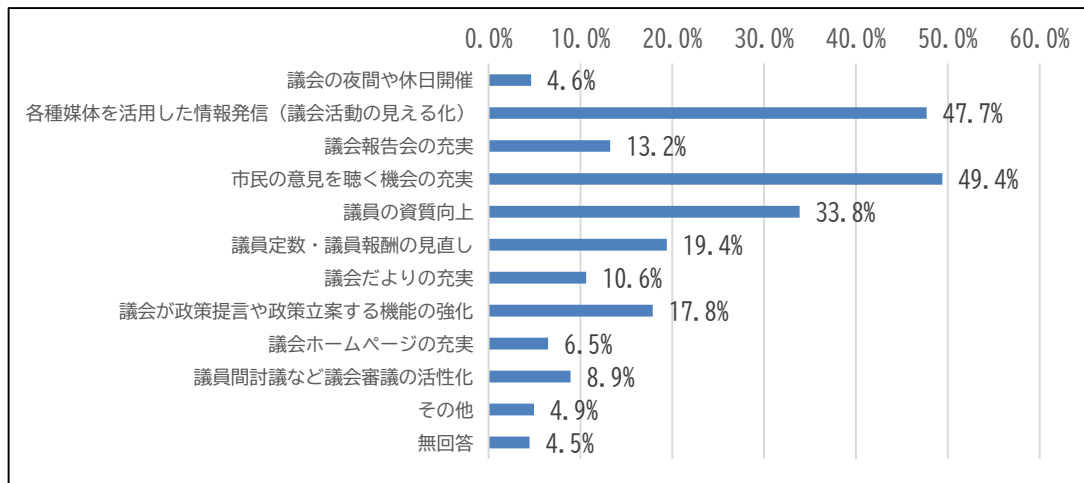
アンケートの継続実施

【問】 投票率を向上させるには何が効果的か。 (第4回：令和8年2月実施)



「議員マニフェストや議員活動の見える化」と回答した人が一番多く、次点で「商業施設等での期日前投票所開設」「選挙について理解を深める機会を増やす」「広報活動の充実」と続く。

【問】 議会活動活発化のため取り組むべき課題は。 (第4回：令和8年2月実施)



「市民の意見を聴く機会の充実」が一番多く、次点に「各種媒体を活用した情報発信」が続く。この傾向は前回と同様だが、情報発信を重視する傾向が強くなっている。

アンケートからみる市民意識動向

- アンケート回収率は 40.6%(H23) → 40.2%(H28) → 42.0%(R3)→33.0%(R8) と減少傾向にある
- 議会への関心度は「少し関心がある」を含め 61%(H23) → 49.2%(H28) → 40.2%(R3) → 40.5%(R8)という傾向
- 議会活動の活性化の課題として「市民の意見を聴く機会の充実」が最も多い
- 「議員の資質向上」「議員定数・議員報酬の見直し」「政策提言や政策立案機能の強化」を望む意見も多い
- 情報発信に関し、議会だよりや議会ホームページの充実に加え、「各種媒体を活用した情報発信」を望む声が増加している



「議会の見える化」の推進

- ① 市民に分かりやすい議論の場
- ② 政策提言型の議会
- ③ 市民意見を聴く広聴機能の充実
- ④ 各種媒体を利用した広報の展開

市民にとってわかりやすい議論

本会議における一般質問および議案質疑は、論点や争点を明確にし、執行機関や傍聴者にわかりやすくするため、下記の取り組みを実施している。

● 一般質問・議案質疑

一問一答方式と一括質問一括答弁方式の選択方式（再質問からは一問一答）

→通告時に議員が選択することとしている。大項目（議案）ごとの質問項目の多寡などで使い分けられるようにしている。

● 反問権

議員の質疑・質問に対し、執行機関が議長又は委員長の許可でその根拠や理由を確認したり、論点を明確にするために反問の権利を保障している。

● 自由討議

本会議および委員会で自由討議ができるよう規定している。

● 議場モニター（スクリーン）

議場にモニターを設置し、資料データを投影しながら一般質問ができる。



ICTを活用した議論の充実

- 目的：
- ・ 議員相互の意見交換のため
 - ・ 事前調整を活発に行うため
 - ・ 資料の配付・内容確認の円滑化のため

令和5年度より議員一人1台タブレットを支給し、会議資料はデータ資料を基本とする。

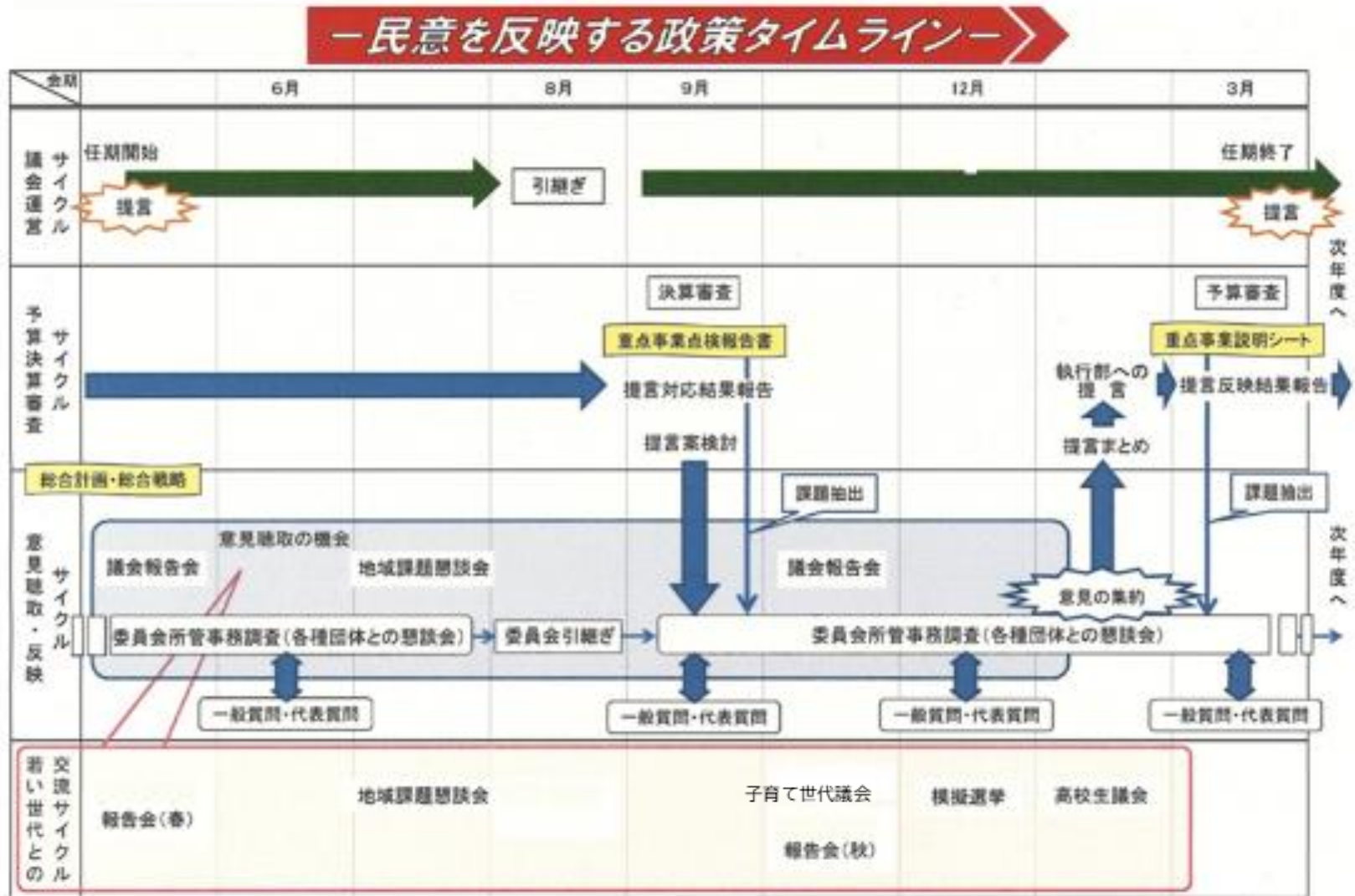
ツール： 議会掲示板（議会HPを活用）、ペーパーレス会議システム

- 効果：
- ・ 大量の資料もインターネット上で速やかに配付、**資料の事前確認を行う**ことができた。
 - ・ **委員相互の意見交換や認識を深めてから委員会に臨む**ことができた。



令和6年度ペーパーレス会議システムを導入、令和7年度より完全データ化

4つのサイクルアニュアルプラン



切れ目のない議会運営

4つの議会サイクル その1

議会運営サイクル



議長引き継ぎ事項（R7.6）

議長職における引き継ぎ事項について

1. 電子採決システムの導入・運用や、ペーパーレス会議システムを活用した「議案書及びその関係資料一式」のデータによる配付など、議会においては一層のDX化が進んでいる。今後は、当初予算書、決算書、及びその付属資料についても、執行部と様式等の調整を図りながら「完全データ化」を進めると共に、そのフォローとして、導入したICT機器・アプリケーションなどを議員自身が有効に活用できるよう、議員研修を開催するなど、議会全体でスキルアップを図ること。
2. 引き続き、議会報告会(フリースピーチを含む)や各種団体との懇談会、及び高校生議会など、「市民からの意見聴取」に力点を置いた機会創出を積極的に行うと共に、その聴取方法や内容等について充実を図ること。
3. 議会広報広聴機能の強化のため、地域団体が開催する行事・イベントに参画するなど、引き続き、一層の積極的な「アウトリーチ事業」に取り組むと共に、企画のブラッシュアップなどを行うこと。特に、議会として初の試みである、「小学校への出前授業」については好評を得ており、各小中学校や高等学校など多方面からも実施要請が来ていることから、内容の充実強化を図り、当該事業の推進をすること。
4. 多様な人材が議会に参画できるよう、環境整備を図ると共に、議会広報においては、多世代に情報が伝わるようSNSなどの様々な媒体を活用した情報発信を引き続き強化していくこと。
5. 地方議員の成り手不足が全国的に課題となっている状況を鑑み、その処遇改善として、本市の「議員報酬」について、報酬審議会の開催に向けた働きかけをすること。

令和7年6月26日

可児市議会議長 澤野 伸

各常任委員会においても引継事項をとりまとめ、政策的課題について、継続して所管事務調査が行われるようにしている。

正副議長立候補制度

● 立候補手続き

- ・ 所定用紙にて議会運営委員会へ届出 ※正副議長への重複立候補はしない

● 立候補者演説会

- ・ 8月臨時会で**立候補者による所信表明演説**を実施
- ・ 立候補演説10分以内、質疑1人5分以内で実施
- ・ ケーブルテレビにて**公開**

● 投票行為

- ・ 単記無記名による投票行為
- ・ 原則として立候補者氏名を記入（法的には候補者以外の氏名を記入しても有効）

引き継ぎ事項に
対してどうして
いくのか

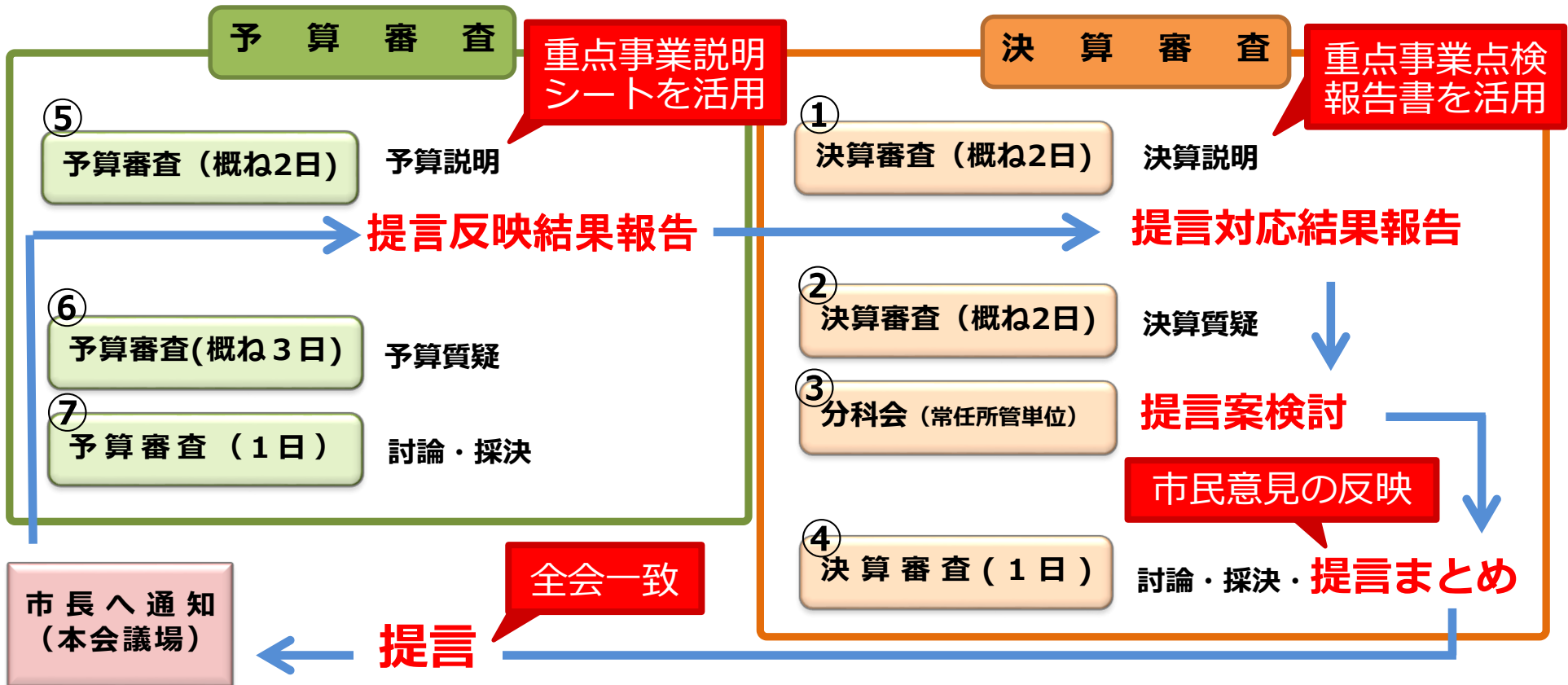


決算審査から提言へ

4つの議会サイクル その2

予算決算審査サイクル

予算決算委員会：議員20人で構成(議長・監査委員を除く)



決算議会日程 (令和7年8月21日～9月26日)

21日	木	9:00	本会議(提案・議案付託)
		本会議終了後	予算決算委員会(補正予算)
22日	金	13:00	予算決算委員会(決算・総務企画所管)
		9:00	予算決算委員会(決算・建設市民所管、教育福祉所管)
23日	土	休会	
24日	日	〃	
25日	月	9:00	予算決算委員会(予備日) ①決算質疑締切(正午)
26日	火	休会	
27日	水	〃	②決算質疑締切(正午)
28日	木	〃	議案質疑、委員会質疑締切(正午)
29日	金	〃	
30日	土	〃	
31日	日	〃	
9月1日	月	〃	
2日	火	〃	
3日	水	9:00	本会議(一般質問)
		本会議終了後	広報部会
4日	木	9:00	本会議(一般質問)
		本会議終了後	広聴部会
5日	金	9:00	本会議(一般質問予備日)
6日	土	休会	
7日	日	〃	
8日	月	9:00	予算決算委員会(総務企画所管・市民文化部・建設部)
9日	火	9:00	予算決算委員会(水道部・教育福祉所管)
10日	水	9:00	総務企画委員会
		委員会終了後	予算決算委員会分科会(総務企画所管)
11日	木	9:00	建設市民委員会
		委員会終了後	予算決算委員会分科会(建設市民所管)
12日	金	9:00	教育福祉委員会
		委員会終了後	予算決算委員会分科会(教育福祉所管)
13日	土	休会	
14日	日	〃	
15日	月	〃	
16日	火	〃	
17日	水	〃	
18日	木	9:00	予算決算委員会(討論・採決・提言とりまとめ)
		委員会終了後	広報広聴協議会

執行部から説明(P15の①)
議選監査から報告

決算に係る質疑の締切
正副委員長にて質疑精査・選定

質疑応答(P15の②)

分科会毎に提言案を協議(P15の③)

提言とりまとめ(P15の④)

重点事業点検報告書

重点方針	まちの安全づくり					所属	建設 部 土木 課				
事業名	雨水対策事業					決算額	79,134,204 円 前年度比 △ 23,987,496 円				
						款項目	国1	国2	国3	国4	決算実績報告書
総合戦略	-					事業期間	終期なし				
強靱化計画 リスクシナリオ	1-2	2-3	3-1	5-1			令和	年度	～	令和	年度
事業概要	集中豪雨による浸水被害から市民の生命財産を守るため、雨水排水計画に基づき、排水路整備を進めます。										
重点施策の実現に向けた取り組み	雨水排水路の整備工事や維持管理業務を行い、浸水対策を進め、災害に強いまちづくりを推進します。										
実施内容（成果物の写真・地図等）	<ul style="list-style-type: none"> ◆内水浸水想定区域図作成に向け、次のとおり支出しました。 <ul style="list-style-type: none"> ◆内水浸水想定区域図作成に係る水路調査業務 30,566,800円 ◆雨水施設の管理を行うため、次のとおり支出しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水幹線除草業務委託料 3,820,300円 ・土田雨水幹線支障木伐採業務委託料 499,400円 ・広見雨水幹線支障木伐採業務委託料 135,300円 ・雨水マンホール蓋取替工事 5件 1,909,600円 ◆浸水地域の解消を図るため公共下水道の雨水施設の整備に関し、次のとおり支出しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・花軒雨水幹線詳細設計業務(繰越業務) 19,857,200円 ・川合南雨水幹線詳細設計業務(繰越業務) 19,688,900円 										
	 内水浸水想定区域図作成に係る水路調査		 雨水マンホール蓋取替工事								
指標(単位)		対象年度の目標値に対する達成率	令和4年度 目標値 結果	令和5年度 目標値 結果	令和6年度 目標値 結果	令和7年度 目標値 結果	令和8年度 目標値 結果	令和9年度 目標値 結果			
指標①	雨水整備率	A	84.6%	84.6%	84.6%	85.0%	85.0%	85.0%			
指標②			84.3%	84.6%	84.6%						
指歩											
指標考											
結果分析	花軒雨水幹線および川合南雨水幹線の詳細設計を完了しました。										
今後の課題	集中豪雨による浸水災害が繰り返し発生しており、内水浸水想定区域図を作成し、より計画的に「選択と集中」を意識した浸水対策を実施していく必要があります。										
年度	総事業費(見込)	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算(当初)							
事業費(千円)	-	103,122	79,134	110,000							
財源内訳	特定財源	国庫支出金	-	37,000	10,150	37,500					
		地方債	-	31,300	42,100	38,500					
		その他	-	30,559	26,740	34,000					
		一般財源	-	4,263	144						

- 可児市市政経営計画の4つの重点方針に基づく、重点事業ごとにまとめている
- 実施した内容を明示
- 目標値及び結果を年度ごとに
- 今後の課題など
- 複数年にわたる予算執行状況

予算議会日程 (令和8年2月24日～3月23日)

24日	火	9:00	本会議 (開会・提案・予算議案付託)
		本会議終了後	予算決算委員会 (説明:補正予算)
		13:00	予算決算委員会 (説明:当初予算歳入・総務企画委員会所管)
25日	水	9:00	予算決算委員会 (説明:建設市民委員会所管)
		13:00	予算決算委員会 (説明:教育福祉委員会所管)
26日	木	9:00	予算決算委員会 (予備日)
27日	金	休会	
28日	土	〃	
3月1日	日	〃	
2日	月	〃	予算質疑、議案質疑、委員会質疑締切 (正午)
3日	火	〃	
4日	水	9:00	本会議 (一般質問)
		本会議終了後	広報部会
5日	木	9:00	本会議 (一般質問)
6日	金	13:00	本会議 (一般質問・予備日)
7日	土	〃	
8日	日	〃	
9日	月	〃	
10日	火	9:00	予算決算委員会 (質疑:総務企画委員会所管)
		委員会終了後	総務企画委員会
11日	水	9:00	予算決算委員会 (質疑:建設市民委員会所管)
		委員会終了後	建設市民委員会
12日	木	9:00	予算決算委員会 (質疑:教育福祉委員会所管)
		委員会終了後	教育福祉委員会
13日	金	9:00	予算決算委員会 (討論・採決)
		委員会終了後	広報広聴協議会

執行部から説明(P14の⑤)

予算に係る質疑の締切
正副委員長にて質疑精査・選定

質疑応答(P14の⑥)

討論・採決(P14の⑦)

政策提言・提案の取り組み

▼決算審査による予算編成への提言

○決算審査において予算決算委員会です管ごとに分科会を開催し、提言案を検討・協議。

○分科会の各提言案について改めて予算決算委員会で自由討議を行った上、全会一致で提言内容を決定、市長へ提出。

○次年度予算編成にどう反映されたのか報告を受ける。

提言 1	提言 2	提言 3
生活安全推進事業について 現在、紙で配布している「子ども110番の家」マップについて、デジタル化（DX化）の推進と掲載内容の充実、関係各所との連携強化を！に対して… 	公共交通について 鉄道の利用促進事業、駅周辺のにぎわい創出、バスなどとの接続強化、近隣自治体との連携推進など、鉄道の存続と地域活性化のための予算の確保を！に対して… 	児童生徒の登下校時の熱中症対策について 児童生徒の登下校時の安全確保のため、あらゆる熱中症対策に必要な予算措置を！に対して… 
予算へ反映 子ども110番の家マップ作成経費 前年比4万2,000円増	予算へ反映 さつきバス路線・ダイヤ再編経費 前年比7,690万9,000円増	予算へ反映 熱中症対策経費 前年比1,776万2,000円増
<ul style="list-style-type: none"> ●「子ども110番の家」マップは、今後PDFデータ化し、児童へ配布する方向で調整します。 ●「みまもりオアシス」もマップに掲載し、内容のさらなる充実に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●さつきバスの路線を名鉄広見線の各駅へ向かうルートとし、早朝や夕方運行を開始することで鉄道を通勤、通学に利用しやすくします。 ●さつきバスについて、高齢者のニーズが高い病院やスーパーなどへの停留所の設置や増便により利便性向上を目指します。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●みまもりオアシスの協力事業所などに専用の表示プレートを提供し、掲示を依頼していきます。 ●児童生徒へ下校時に塩分タブレットを配布します。 ●各小中学校に冷水器を設置し、冷たい飲料水で水分補給が行える環境を整備します。 など
		

＜参考＞ 令和6年度決算に基づく議会からの提言に対し、令和8年度予算で反映した内容の報告

委員会調査事項から提言へ



一般質問からの深掘り、報告会などでいただいた意見などを踏まえ、委員会で調査研究を重ね、所管委員会の総意として質問する。

委員会代表質問



可児市議会基本条例
(常任委員会の活動)

第11条 常任委員会は、所管事務調査及び政策提案を積極的に実施し、その機能を十分発揮しなければならない。

2 常任委員会を代表する議員は、本会議において議長の許可を得て所管事務に関する質問をすることができる。

【H29.4.1施行】

委員会代表質問のルール

事前通告制。一般質問の前に実施。時間は答弁も含め60分。

- **質問項目は**

各議員の一般質問や委員会の所管事務事項

- **全会一致で決定**

緊急性、必要性を勘案し、委員会の全会一致で行う

- **質問の準備**

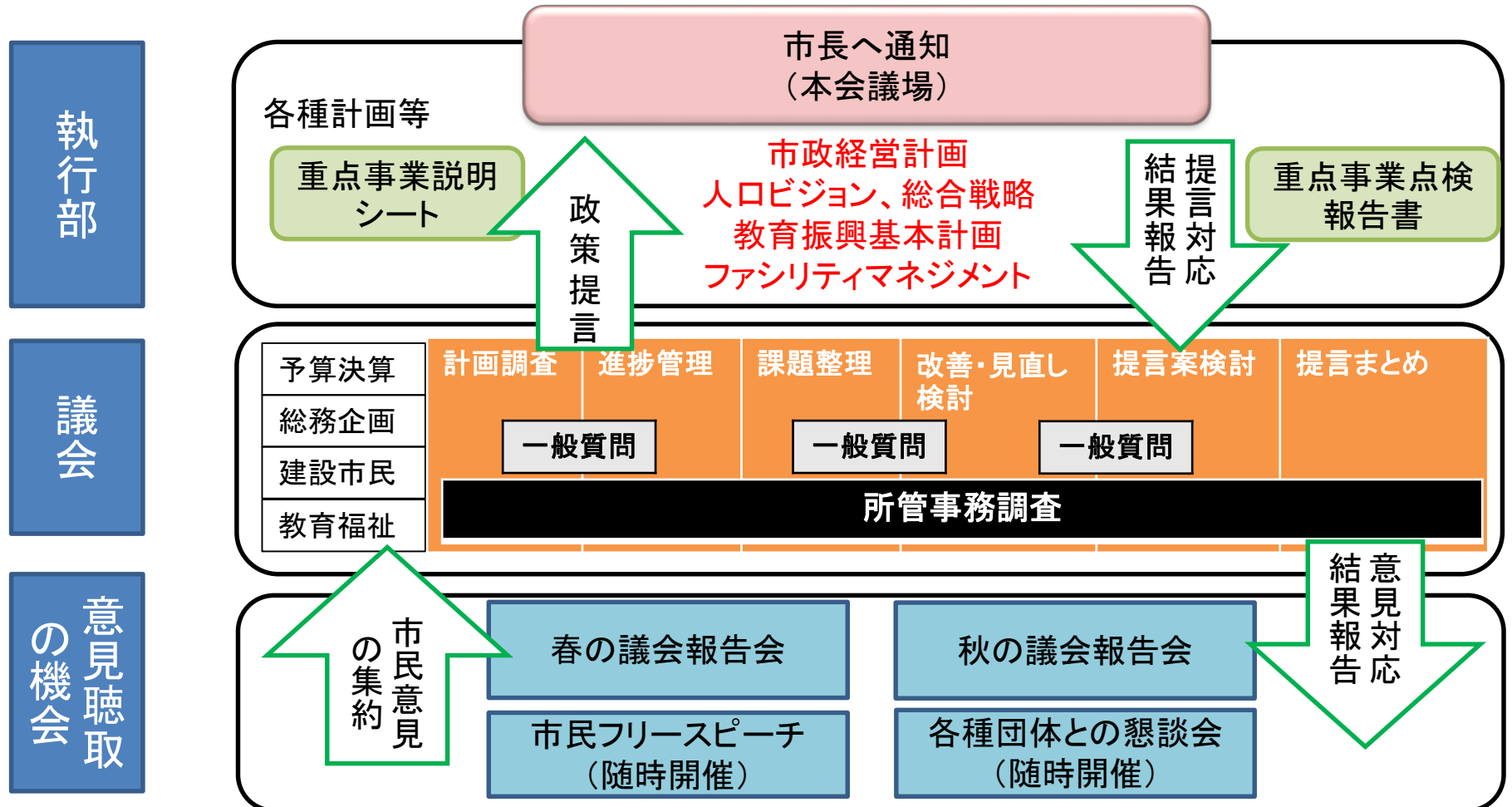
質問者、論点、想定問答を検討、承認を得る

委員会において、十分に調査研究を行うこと

市民意見を聴く機会の充実

4つの議会サイクル その3

意見聴取・反映サイクル



議会報告会の実施

基本条例で毎年開催を規定。

開催状況

開催日：令和8年2月14日
会場：議場・委員会室

第一部

予算決算審査サイクルの説明

第二部

テーマ

「鉄道を軸にしたまちづくり」
グループに分かれ意見交換

“鉄道を軸にしたまちづくり”をテーマに 議会報告会(懇談会)を開催しました

2月14日に、議会報告会(懇談会)を開催し、40名を超える方の参加がありました。当日は、予算決算委員長による議会での予算審議や決算審議の仕組みの説明の後、5つのグループに分かれて、「鉄道を軸にしたまちづくり」をテーマに意見交換を行いました。グループごとの意見交換の後は、議場で各グループから出た意見を発表、全体で共有しました。この内容などをまとめた報告書を議会HPに掲載していますのでぜひご覧ください。

また、各意見は今後の公共交通を含むまちづくりの協議へ生かしていきます。



駅周辺すべてに、子どもと高齢者が集まる交流施設の設置、高校生世代の居場所を設置しては？



昔に比べて路線バスが少なく駅までの移動手段が無いので、鉄道を利用しづらくなった。



東濃実業高等学校など地元高校生とコラボして、スイーツ列車をやってみてはどうか？

ふるさと納税を活用し、駅へのコミュニティバスルート確保、駅前へキッチンカーの配置、可児そだちの車内販売などを実施しては？

今のままでは電車に乗る人は減っていくので、住民の意識を変えて、鉄道に愛着を持てるような施策の実施を。

介護モデル事業と鉄道利用促進を掛け合わせて、鉄道を利用したりハビリテーションはどうか？

特に夜間の治安対策として、駅周辺を街灯などで明るくしたり、防犯カメラの増設をしたりしては？

議会報告会のあゆみ

当初

- ・ 第1回は平成24年2月
- ・ スクール形式で報告
- ・ 意見を言う市民は一部



コロナ禍

- ・ 完全オンラインで実施
- ・ ズームのブレイクアウトルームを利用
- ・ 市民が興味あるテーマを選び参加
- ・ 一部議員も自宅からオンライン参加



現在

- ・ 4から6人でグループになり意見交換
- ・ 議員はファシリテーターと記録係
- ・ テーマを設け、全員から意見を聴く
- ・ 最後に会場全体で意見を共有
- ・ 頂いた意見はHPで公開

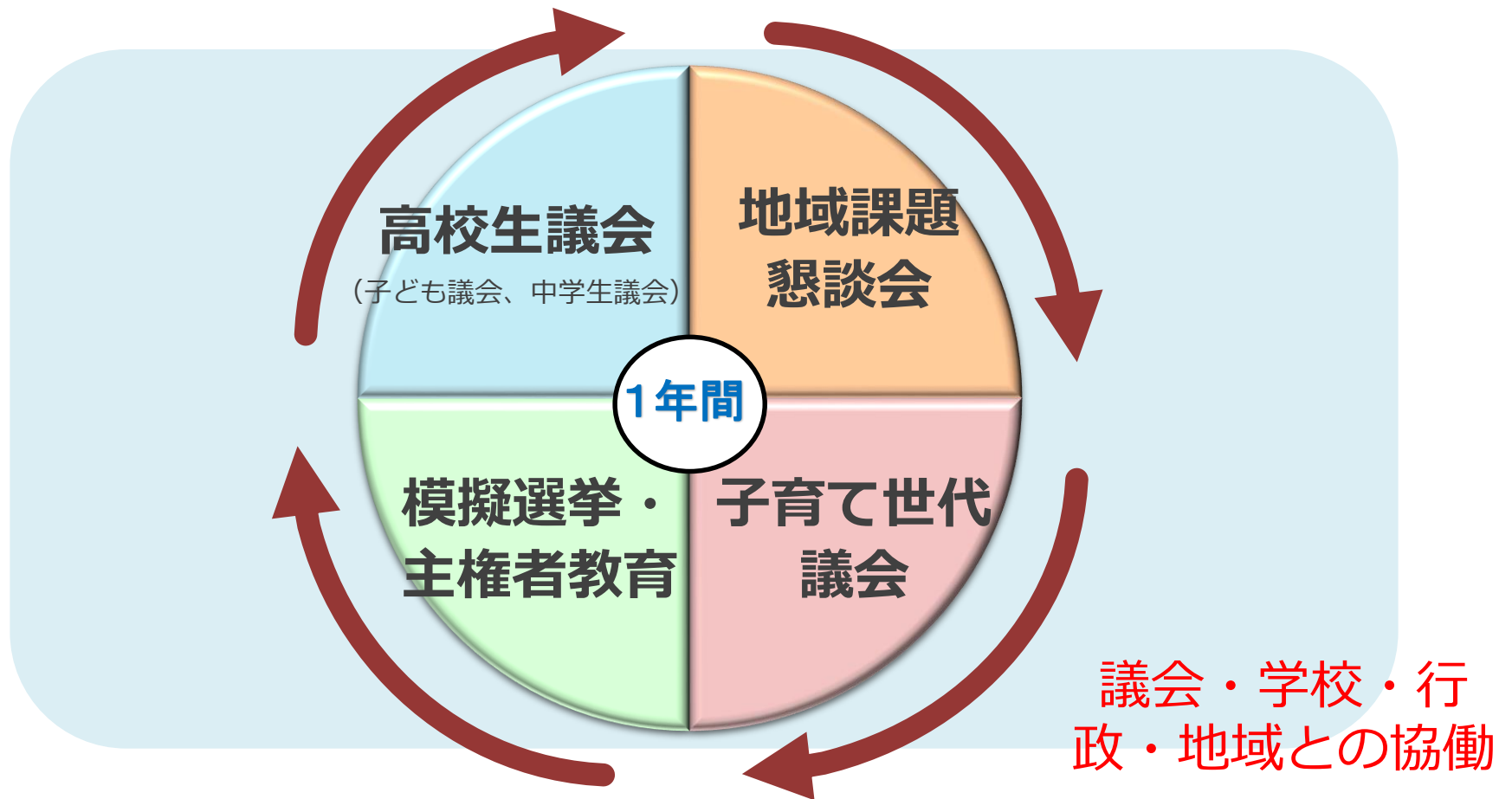
意見聴取体系

	区別	会議名	対象	担当議員	主な会場	内容
議会報告会	地区別	地区懇談会	地区	地区議員他	地区センター	・各地域での課題について意見交換
		予算・決算報告会	全市民	全議員		・予算および決算の報告、意見交換
	課題別	各種団体懇談会	各種団体	委員会	市役所、福祉センター、アール等	・各種団体との意見交換、情報共有
		地域課題懇談会	多世代	全議員		・専門家による講話、意見交流
	世代別	高校生議会	高校生	希望者	議場	・高校生による成果発表、意見交換
		小中学生議会	小中学生			・小中学生による模擬議会
		子育て世代議会	子育て世代			・子育て世代との意見交換
	その他	市民フリースピーチ	来場者			・市民による意見発表
		出前意見交換会	来場者		イベント会場	・イベント会場にてPR、意見聴取

若者世代へのアプローチ

4つの議会サイクル その4

若い世代との交流サイクル



キャリア教育支援としてスタート

可児高等学校が求める**大人と関わる機会**と議会が求める若い世代の意見を聴取する機会を設ける方向性が合致したこと。

キャリア教育推進のためには、地域で活動する大人と関わる機会とその運営者が必要。

高校



基本条例に規定される市民は有権者だけではない。20歳未満の若い世代との関わる場が必要。

議会

「キャリア教育についての研修会」

目的：平成26年2月10日に開催する高校生議会に先立ち、可児高等学校が実施するキャリア教育について、目的や内容などを把握するため。

時期：平成26年1月15日

講師：可児高等学校教諭 浦崎 太郎 氏

対象：可児市議会議員およびH26.2.10意見交換参加職員（介護専門職）



キャリア教育研修

当初の高校生議会の流れ

1) テーマ設定

可児市における実際の課題、キャリア教育での課題など

2) 意見交換

議員や職員など、大人を交えてグループ討議

3) 議場発表

グループ討議のまとめを議場で発表

4) 意見書を採択

高校生が議会に対し、意見書を採択



探究学習の成果発表を議会と

第12回高校生議会(可児高等学校) 令和8年3月23日実施

探究学習の 成果発表と 質疑応答

1, 2年生による探究活動の成果発表の後、議員から質疑を行いました。



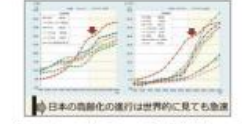
テーマ
多文化共生をより充実させるために、互いの文化の理解を深めよう



国籍・性別・年齢関係なく交流でき、ソウルフードや楽しませている遊びを体験できる場所として、エンジョイもぐもぐワールドツアーの提案。



テーマ
ダブルケアを改善するために、地域の取り組みを知ってもらおう



ダブルケアカフェのPR強化と、宅配サービスによるダブルケアラーの買い物支援の提案。

探究学習を 通じた市へ の提案



テーマ
可児市における生ゴミコンポスト支援策に関する意見書について



JAや議員との協働によるコンポストのワークショップ実施や、生ゴミコンポストPR動画の作成について報告。作成した動画のお披露目。



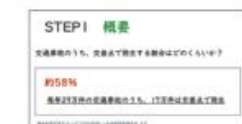
テーマ
いじめをなくすために、周りの意識を変えていこう



いじめ傍観者のいじめの意識を変えることでいじめを起ささない環境を作り出すKiVaプログラム活用この提案。



テーマ
より良い交差点を作るためにできること



交通量が市内の中で非常に多い住吉南交差点を例に、道幅や車線数、案内標識などの構造を改善することによる交通事故防止の提案。



議会の最後に、「可児市における国内外の学生・生徒との学び合い支援に関する意見書」が提案され、生徒全員の賛成により、可児市議会議長へ提出されました。

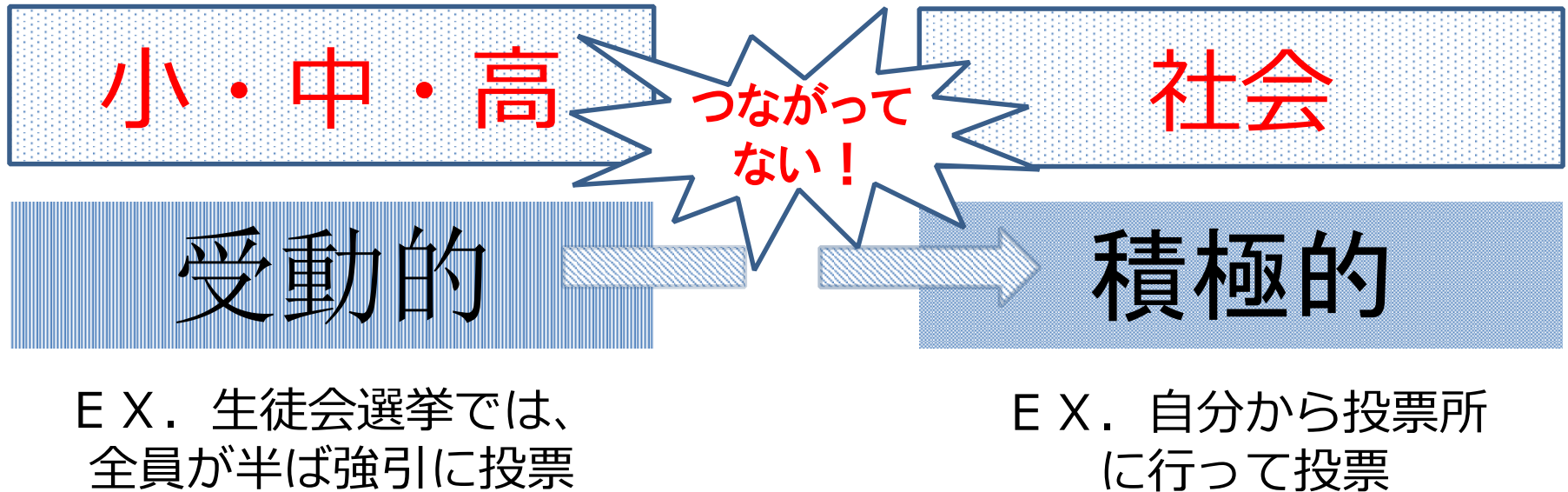


R7可児高発議第1号「可児市における生ゴミコンポスト支援策に関する意見書」を受け、1年間活動した成果を発表してくれました。

R8可児高発議第1号「可児市における国内外の学生・生徒との学び合い支援に関する意見書」を高校生議員全員で採択しました。

議会が行う主権者教育とは

【疑問】 なぜ若者の投票率が低いのか？



⇒積極的に「人を選ぶ」という経験がない

●選挙の仕方と選び方を体験してほしい

生徒の疑問 1 どうやって投票するの？



本番さながらの選挙

平成28年3月25日執行
可児高市長選挙選挙公報
(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま掲載したものです。) 可児高校選挙管理委員会

『だれもが住みやすい街づくり』
 ~可児高校生の目線に立てて~

＜＜教育＞＞～複合施設を完成した図書館～
 1. 学習スペース、カフェスペース、販売機能を兼ね備えた図書館への建て替え。
 2. エンリッチプロジェクトやインターンシップの拡大実施と推進。

＜＜交通安全＞＞～通学時の安全確保～
 1. 歩行者と自転車に安全に利用できる通学路整備。
 2. 学校と駅を結ぶ、バス本数の増加。

＜＜防災＞＞～大震災にむけて～
 1. 通学路や橋など通学路の補強。
 2. 帰宅困難となった場合に備え、学校の備蓄品強化。
 3. 高校生も重要事項ボランティア活動が出来る仕組みづくり。

＜＜観光＞＞～市内の高校生連携～
 1. 高校生主体で、花フエスタ記念公園の企画運営参加。
 2. 可児市観光ルートづくりと、PR。

角野仁美
21歳

大雅嶺広
26歳

山口海斗
21歳

目指せ！10万人総活躍社会
 若者が元気に活躍できる！ **4つの政策課題** 誰もが活躍場所と出番があるまちづくり！

- ◆**交通安全** 通学路の安全を最優先！危険な交差点や踏切通路の改善
 可児市自転車交通安全小中高生免許制度の創設
- ◆**防災対策** 地域防災リーダーの養成 常設型災害ボランティアセンターを開設し、防災券発給と被災地支援活動を支援
- ◆**教育** 保育料軽減推進の観点、大学生主体の学業支援NPO設立
 可児駅前子育て支援施設「学V1BA」@α21開設
- ◆**観光** SNSを駆使し、新可児のよいところ発信コンテストの実施
 高齢者と高校生がタッグを組み、体験型観光プログラム空間

若者が可児を変えろ！ @AlphaDogzait

可児高市長選挙の投票日は平成28年3月25日です！



投票用紙等

選挙公報

可児高校 模擬市長選挙ポスター掲示場
 可児高等学校選挙管理委員会

山口海斗
若者が元気に活躍できる!!

6

大雅嶺広
次世代のために

5

角野仁美
女性の視点で市政を変えろ!!

4

注意

- ポスターは、指定された区画に貼ってください。
- この掲示場は、可児高校模市長選挙候補者以外の方は使用できません。
- 掲示をこわしたり、ポスターを破つたりすると罰せられることがあります。

選挙ポスター



期日前投票

生徒の疑問 2 どうやって選んだらいいの？



グループディスカッション



生徒代表による趣旨説明



投票の指標を議員が説明



グループで選挙公約を検証



グループで選挙公約を検証

情報発信の取り組み

- ▼議会広報紙（議会だより）
 - 年4回発行（5月・8月・11月・2月）
 - 自治会を通して全戸配布

随時見直し、リニューアル

- ・活字を大きめ、やや太めの明朝体に
- ・写真を多く取り入れる
- ・余白を作り、読みやすく
- ・裏表紙に地域の写真を掲載
- ・議員の取材コーナーを掲載
- ・**フルカラー化**（H25.5）
 - 市の広報紙と併せて入札することでコストダウンを図る
- ・段組みを6段から4段へ変更
- ・表題を「議会のトビラ」へ（H27.5）
- ・二次元バーコードでYouTubeへ誘導
- ・表紙を一般公募（R4.5～）
- ・インデックス+UDフォントの導入、オール横書き（R8.5～）



広報紙以外の取り組み

▼ホームページ

議会のホームページ開設 (H16.3)

議員紹介、議案や議決結果、会議録、議会の取り組みなどを公開

全面リニューアル (H28.4)

広報紙にあわせ「議会のトビラweb」

Googleカレンダー…会議日程の公表

Facebook …タイムリーな情報

YouTube …動画配信へリンク

議会だよりの音声データを掲載

▼YouTube

本会議、常任委員会 (議案等)

▼Instagram

若い世代への情報発信として投稿開始

令和4年11月スタート

担当議員でLINEグループをつくり、その場で編集



地元メディア媒体の活用

▼ケーブルテレビ
本会議の生放送
各種告知



議会の制作番組を放送
テレビ番組 10分×2本／年



▼FM放送

15分番組を年4本
各種告知
議長の決意表明
委員会紹介
高校生との対談 など



広聴機能と広報機能を一つに

2つの特別委員会を廃止し、広聴広報機能を一本化

議会広報特別委員会

- ・見やすい広報紙作り
- ・市民への取材
- ・あらゆる媒体での広報 etc.



広報広聴協議会

- ・議長を除く全議員が参加
- ・副議長が座長
- ・広報部会・広聴部会で構成

議会改革特別委員会

- ・意見聴取の場を企画、実施
- ・事業の検証
- ・ICTの推進 etc.



議運

- ・検証
- ・ICTの推進

一方向の関係ではなく、双方向の関係に

今後の課題は

議会への関心度低下

- 「関心がある」と回答 **8.8%** (令和8年市民アンケート)
- 市議会選挙投票率 **37.57%** (令和5年7月執行)

身近で頼れる議会へ

- ☆ **議会報告会の2月開催**
 - ・ 市民意見を直接予算審議に
- ☆ **アウトリーチで身近な議会**
 - ・ イベントにブース出展
- ☆ **市民フリースピーチの開催**
- ☆ **議員研修会へ一般市民も参加**



産業フェアへブース出展



市民フリースピーチ開催

概要説明は以上となります。
ご清聴ありがとうございました。